

定格表

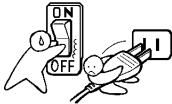
カタログ番号	型番	使用電圧 周波数	入力電流	消費電力	使用ランプ	質量
SS375	6OPC-04K9-80	AC100V 50Hz/60Hz	0.1A	5.2W	LED1Wクラス×8	2.5kg

本品の規格及び外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

保守とお手入れ

△ 注 意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- LEDの光色・明るさには若干の個体差があります。
- また、LEDの仕様は予告なく変更となる可能性があります。
- あらかじめご了承ください。



△ 注 意

- ◇器具のお手入れの際に、アルコールやガソリン・シンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。
- 汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。感電の原因となります。
- ◇器具のお手入れの際に、器具のすきまに金属類（針金・ピン等）を差し込まないでください。器具の破損・不点灯の原因となります。
- ◇この器具のLEDランプの交換は、修理扱いになります。詳しくは、この器具をお求めの電気店・最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。
- ◇無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。火災・発熱・器具破損の原因になります。

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売所・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル  0570-550-575
(全国共通番号)

受付時間（土日祝を除く）10:00～17:00
通話料はお客様のご負担となります
PHSからは接続できません
<http://www.yamagiwa.co.jp/>

取扱説明書

ANDROMEDA designed by Ross Loveglobe



このたびは、ヤマギワの照明器具をお買上げくださりまして誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取付け、正しくご使用ください。
●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目次

- 1ページ：照明器具取付（施工）についての安全上のご注意
- 2ページ：部品名称、取付方法
- 3ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意
- 4ページ：定格表、保守とお手入れ、アフターサービスのお問い合わせ

保管用

ご不明な点がありましたら
販売店にご相談ください。

照明器具取付（施工）についての安全上のご注意

△ 警 告



火災のおそれがあります
◇電源接続の際は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。

落下によるけがのおそれがあります
◇取付方向に指定のある器具は指定の取付方向に取り付けてください。
◇取付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
◇器具の取付けは取付ける天井の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合は補強工事をしてから取付けてください。

感電のおそれがあります
◇工事が完了するまでは必ず電源を切っておいてください。
◇ランプの取付けの際には必ず電源を切ってください。



火災のおそれがあります
◇器具と被照射面との距離に指定のある器具は、指定距離より近くに取付けしないでください。



落下によるけがのあそれがあります
◇取付け部のまわりに極端な突出部のある天井に器具を取付けしないでください。

△ 注 意

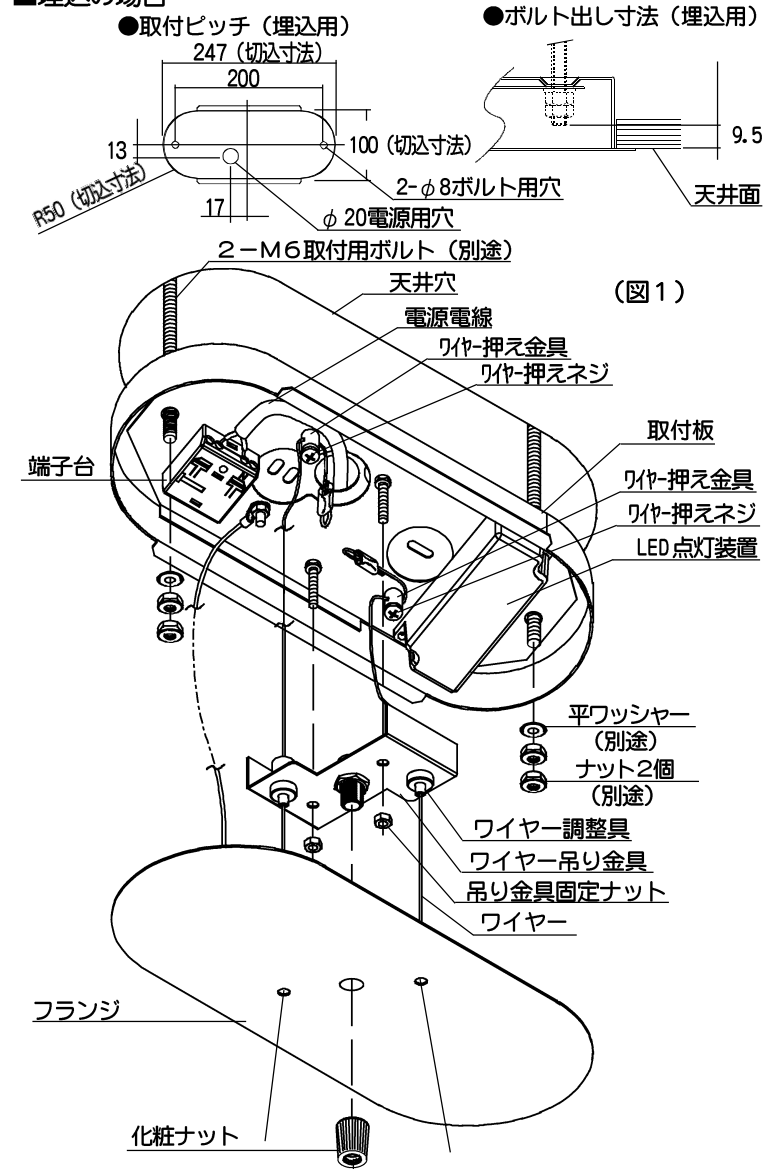
- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具取付けの際に、天井の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇この器具は屋内使用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用出来ません。屋外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。火災の原因となります。
- ◇取付けた器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇グローブ、セード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。
- ◇振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。不点灯、短寿命、落下の原因となることがあります。

お 願 い

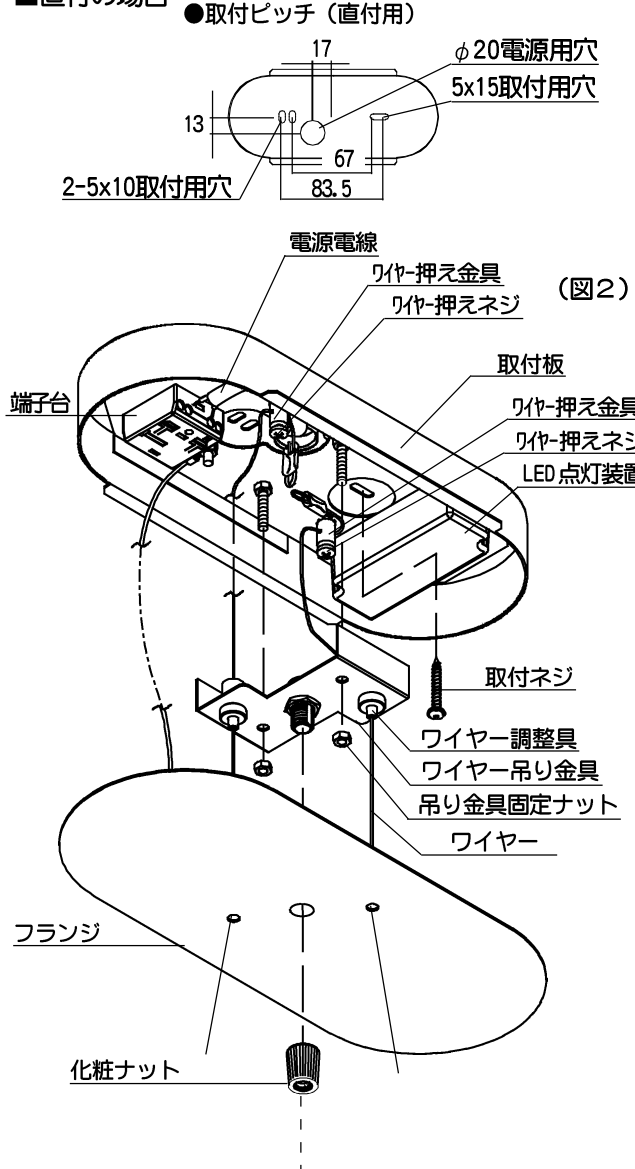
電気工事店様へ
工事が終わりましたらこの取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

部品名称

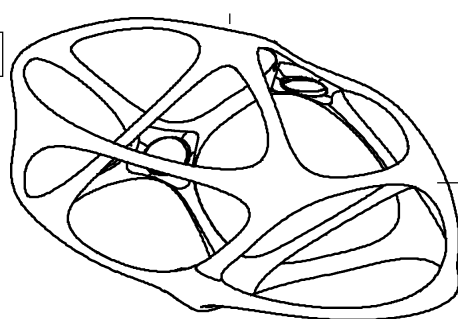
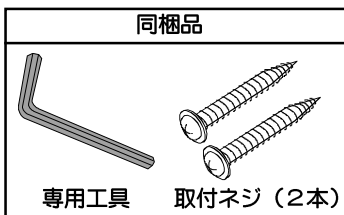
■埋込の場合



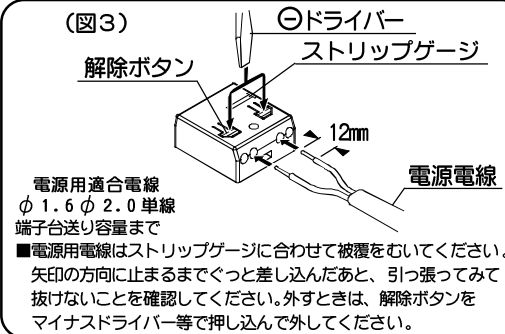
■直付の場合



イラストは抽象化したものです。



(図3)



取付方法

(埋込の取付方法)

- 取付板を取り付けます。
 - ボルトピッチおよびボルト出し寸法(上図参照)を参照し、取付用ボルト(M6)を天井内に2本立ててください。
 - 天井に取付板を設置するための天井穴(上図・切込寸法参照)を開けてください。
 - 取付用ボルトに取付板を通して、平ワッシャー(別途)とナット(2個づつ)で確実に固定してください。(図1参照)
- 電源電線を端子台に接続してください。(図3参照)
- 取付板にワイヤー吊り金具をかぶせて吊り金具固定ナットを締め込んで固定してください。(図1参照)
- 取付板にフランジをかぶせ、化粧ナットを締め込み固定してください。(図1参照)

※この器具は、全長を調整することが出来ます。3ページの全長の調整方法を参照の上、調整してください。

(直付の取付方法)

- 取付板を付属の取付ネジで補強材のある位置にしっかりと取り付けてください。(上図・取付ピッチ参照)
- 電源電線を端子台に接続してください。(図3参照)
- 取付板にワイヤー吊り金具をかぶせて吊り金具固定ナットを締め込んで固定してください。(図2参照)
- 取付板にフランジをかぶせ、化粧ナットを締め込み固定してください。(図2参照)

※この器具は、全長を調整することが出来ます。3ページの全長の調整方法を参照の上、調整してください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告



感電のおそれがあります

◇器具のお手入れの際には必ず電源を切ってください。



感電・火災のおそれがあります

◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。



感電・火災のおそれがあります

◇器具及び部品の改造をしないでください。

◇器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。



火災のおそれがあります。

◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。



⚠ 注意

◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を、回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。

器具の落下によるけがの原因となることがあります。

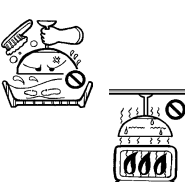
◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。

◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。

◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。

器具の変形や火災の原因となることがあります。

◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8~10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。3~5年に1回は電気工事店の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。(使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。)



全長の調整方法

注) 全長を調整する際には、本体の水平を取るための微調整であればワイヤー調整具のみの操作で可能ですが、大幅な調整の場合は、一旦フランジを外してコードとのバランスをとりながら調整してください。特に長くする場合に、コードが引っ張られて本体やコードの破損のおそれがあります。

●水平調整のみ行う場合(図4参照)

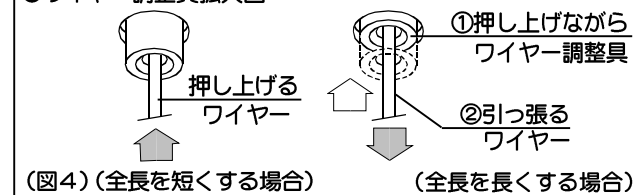
・全長を短くする場合

・ワイヤーのみ押し上げてください。

・全長を長くする場合(図4参照)

・ワイヤー調整具を押し上げている間、ワイヤーを下に引っ張り調整してください。

●ワイヤー調整具拡大図



(図4) (全長を短くする場合)

(全長を長くする場合)

●全長調整を行う場合

①化粧ナットをゆるめフランジを一旦外します。

②専用工具でコード押えネジをゆるめておいてください。(図5参照)

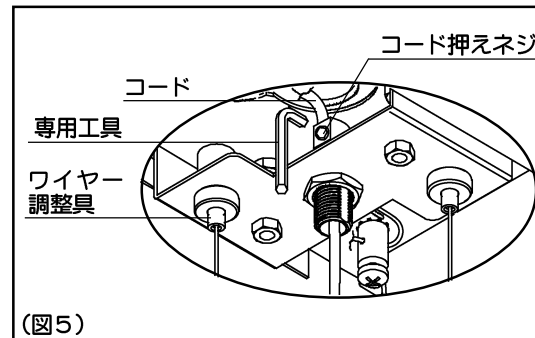
③ワイヤー調整具で全長を調整してください。(図4・5参照)

※長くする場合には、コードが引っ張られないように長さを調整しながらワイヤーを調整してください。コードを過度に引っ張りますと本体やコードの破損する恐れがあります。

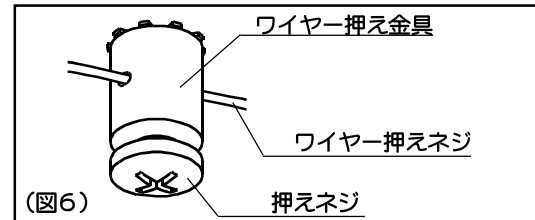
④全長調整が終わりましたら、コードを少したるむ程度の長さに調整してコード押えネジを専用工具にて締め込み固定してください。その際にあまり強く締め過ぎないようにしてください。コードの破損の恐れがあります。(図5参照)

※ワイヤー切断時のご注意(図6参照)

全長調整などでワイヤーを切断したときは、必ずワイヤー押え金具に通し直して押えネジで固定したあと、先端は抜け止めをしてください。



(図5)



(図6)

反射板の調整方法

- LED ランプからの光が反射板を照らしますので、反射板をお好きな方向にゆっくりと動かして調整してください。(上面2ヶ所)(右図参照)

反射板拡大図

